

多彩な国際交流や海外研修で視野を広げ 国際貢献できる医療福祉の専門職へ。

学生たちが将来、どの国でもどんな場所でも自立した医療福祉のエキスパートとして行動できる人になって欲しい。

そんな願いから、本学では学内組織として国際部や国際交流センターを設置し、国際プロジェクトの企画・運営や海外情報の収集、海外からの短期研修の受け入れなど、さまざまな国際交流や海外研修を展開しています。

2週間の海外研修プログラム

夏休みや冬休みを利用して、10日～2週間の海外研修（総合教育科目 海外保健福祉事情）を実施しています。本学が学術交流協定を結んでいる24の国や地域から研修先を選び、現地の医療福祉や異文化を体験します。海外の医療福祉現場に触れることで国際的な視点を養う貴重な機会となっています。

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で海外渡航は中止となりましたが、中国、シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、カンボジア、ハンガリーの協定先とオンラインでの交流を実施しました。

研修の一例（2019年度夏季研修・カンボジア）

- | | | | |
|-----|--|------|---|
| 1日目 | カンボジア・プノンペン到着 | 7日目 | アンコールワット見学、シェムリアップ州立病院、ヘルスセンター見学 |
| 2日目 | プノンペン市内見学 | 8日目 | アンコール小児病院見学、プノンペンへ移動 |
| 3日目 | 講義「カンボジアの医療事情」、カンボジア国立保健科学大学施設見学、歓迎夕食会「Tomodachi Hour」 | 9日目 | 歴史的施設Tuol Sleng Genocide Museumとセントラル・マーケット見学 |
| 4日目 | クメール・ソビエト友好病院、老人センター、ほか複数施設訪問 | 10日目 | フェアウェルセレモニー、研修報告会 |
| 5日目 | 国立母子健康センター、カルメット病院、ほか複数施設訪問 | 11日目 | 帰国 |
| 6日目 | シェムリアップへ移動、シェムリアップ州保健医療課長表敬訪問、アンコールバナナマ博物館見学 | | |

海外研修参加者（2019年度）

異なる文化に触れ将来の夢もさらに明確になりました。

海外保健福祉事情で、オーストラリアのケアンズで2週間、ホームステイをしながら勉強しました。英語の専門学校に通いながら、先住民の方の医療の状況を学んだり、老人ホームの見学をしたり、多くのことを体験できました。ホストファミリーや現地の方々の暮らしぶりからは、ワークライフバランスをとても大切にしていることが伝わってきました。将来、言語聴覚士として働くうえで、世界のさまざまな生活を知っていることはとても大切です。経験を積んで、日本に住む海外の方へのリハビリテーションにも貢献したいという新たな目標ができました。

成田保健医療学部 言語聴覚学科（4年）
高橋 るみさん
（新潟県立六日町高等学校出身）



中国からの留学生

万全の受け入れ体制の本学を選んで良かった！

「人生は一度きり。さまざまな場で視野を広げたい」という思いで留学を決めました。中国で有名な理学療法士の先生には本学の卒業生が多く、関連職種連携教育にも力を入れていることから、本学を留学先として希望しました。初めは心細さもありましたが、日本の友人や他の留学生とも交流が深まり、今は毎日が充実しています。一番感動したのは、先生がとても親切なことです。学修以外に、日常生活での悩みの相談にも乗っていただき、心から感謝しています。しっかり学んで理学療法士になり、臨床経験を積んで、研究や教育にも携わっていきたいです。

保健医療学部 理学療法学科（4年）
李文菊さん



24カ国・地域にある 46の大学・機関と 学術交流協定を締結

※2021年3月現在

